



## 携帯電話に潜んでいる 危険から子どもたちを 守るために

### 生活の中の携帯電話

情報化の進んだ現代社会では、パソコンや携帯電話の普及によって、インターネットへの接続が容易になり、世界中の情報を簡単に手に入れることができるようになりました。特に、携帯電話は「いつでも」「どこでも」情報を入手することができ、携帯できるコンピュータとして、世の中の多くの人々に利用されています。

携帯電話は私たち大人にとって、仕事をする上で欠かすことのできないビジネスツールであったり、私生活における家族間の連絡や友人と連絡を取り合う手段であったり、大変便利なものです。

ところで、あなた自身やあなたの身近な家族、中でも子どもにとって、携帯電話はどのような存在なのでしょうか。

### 子どもにとってのケータイ

さまざまな機能を備えた携帯電話。携帯電話を手に入れた子どもたちは、電話としての機能よりもインターネットに接続する機能を使って、新しい情報の世界を体験していきます。友達とメールを交換したり新しい音楽をダウンロードしたりと、携帯電話のおもしろさを知った子どもたちにとって、「ケータイ」は生活の中になくてはならない存在になっていくのではないのでしょうか。

しかし、「ケータイ」は楽しいことばかりをもたらすわけではありません。そこには、悪意を持った大人の「わな」や、「掲示板」などへの書き込みによる誹謗中傷、子どもたちの健全な育成にふさわしくないアダルトサイトなどの有害情報がたくさんあります。特に、「掲示板」を使って、個人の名前や写真を掲載し、個人情報や許可なく公開したり「いじめ」の道具として悪用したりするなど、多くの子どもたちが被害を受けています。また、自らの命を絶ってしまうような深刻な「いじめ」に至るケースも起きています。現実です。

子どもたちは、このような危険と隣り合わせで携帯電話を日常的に使用しているのです。

### 携帯電話について 親子で考えてほしいこと

親として携帯電話を子どもに持たせるときに、子どもたちの安全を守るため、子どもと一緒に考えてほしいことがあります。それは、携帯電話の良さはもちろんですが、使い方によっては他人に迷惑をかけるようになることや、逆に自分が被害を受ける危険性があることについてです。

インターネットの世界は基本的に自己責任の世界です。自分で情報の善し悪しを見分ける判断力、誘惑に負けない自制心、間違ったことをしたときの責任能力が必要になります。つまり、子どもに携帯電話を持たせるのなら、親としてこの三つの能力がなぜ必要なのかを子どもと一緒に考え、教える必要があります。そして、誤った使い方をすると、自分だけにとどまらず他の人にも迷惑がかかるのだということをしっかりと教え、親自身も責任を持つのだという自覚が必要なのです。

### 親としてできること

有害情報やネットを利用した「いじめ」から子どもを守るために何ができるのでしょうか？  
まず、携帯電話を利用するための

「家庭内のルール」を作ることから始めませんか。メールやネットに振り回され、一日中携帯なしでは生きられないような生活にならないようにしましょう。そして、子どもがアダルトサイトなどにアクセスし、有害情報にふれることがないように、フィルタリングサービスなどを利用し、親の責任の範囲内で携帯電話を使用させるように子どもと約束しましょう。

携帯電話は、便利な道具ですが、誰にも知られずに使えるという特徴があります。子どもだけに任せるのではなく、いつも見守り、時には危険を回避するように指導することが必要です。みんなで携帯電話の在り方や使い方を考えていきましょう。

### 人権センター総合相談を開設

市の相談員、保健師、ハローワーク竹原の職員が相談に応じます。相談は無料で、秘密は固く守ります。

日時 3月18日(水)

13時30分～15時

場所 人権センター

相談内容

生活・人権・仕事・福祉・健康

問い合わせ 人権センター

☎22-3726